# Project C

1　目　的

地域の現状を知り、地域が抱える課題の解決策を探究する活動を行うことで、課題発見・課題設定・課題解決の能力および学力の 3 要素のひとつである「主体性・多様性・協働性」を高める。また、「自分と世の中とのつながり」、「学問と世の中とのつながり」、「世の中における自分の進路と役割」について考えを深めさせ、明確な意志をもって進路実現に向け努力し、地域の将来を担う志をもった人材を育成する。

2　対　象

第 1 学年 生徒 400 名（10 クラス）

3　概　要

筑紫野市の職員及び福岡高等視覚特別支援学校の生徒に「筑紫野市の課題」について講義をしていただき、5 名程度の班で課題解決学習を行う。地域課題に対して、生徒が主体的に情報収集等の活動を行い、多様な意見を協働的にまとめながら解決策を考案する。また、一連の活動過程を Google スライド等にまとめ、学習の成果を発表する。

4　実施計画

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 月 | 18 | 日 | 木 | Project C①：オリエンテーション |
| 9 | 月 | 25 | 日 | 木 | Project C②：出前講義準備 |
| **10** | **月** | **9** | **日** | **木** | **Project C③：出前講義** |
| 10 | 月 | 23 | 日 | 木 | Project C④：情報収集・整理分析Ⅰ |
| 11 | 月 | 6 | 日 | 木 | Project C⑤：情報収集・整理分析Ⅱ |
| 11 | 月 | 10 | 日 | 月 | Project C⑥：方策検討Ⅰ |
| 11 | 月 | 20 | 日 | 木 | Project C⑦：フィールドワーク計画提出→集約 |
| 11 | 月 | 27 | 日 | 木 | Project C⑧：フィールドワーク準備：調整 |
| 12 | 月 | 1 | 日 | 月 | Project C⑨：方策検討Ⅱ |
| 12 | 月 | 4 | 日 | 木 | Project C⑩：フィールドワーク準備：アポ取り |
| 12 | 月 | 15 | 日 | 月 | Project C⑪：方策検討Ⅲ |
| **12 月 22 日(月) ～ 冬季休業中　フィールドワーク** | | | | | |
| 1 | 月 | 15 | 日 | 木 | Project C⑫：プレゼンを学ぶ |
| 1 | 月 | 22 | 日 | 木 | Project C⑬：プレゼン作成Ⅰ |
| 1 | 月 | 26 | 日 | 月 | Project C⑭：プレゼン作成Ⅱ |
| 2 | 月 | 5 | 日 | 木 | Project C⑮：プレゼン作成Ⅲ |
| 2 | 月 | 16 | 日 | 月 | Project C⑯：プレゼン練習 |
| 2 | 月 | 19 | 日 | 木 | Project C⑰：クラス発表会（クラス代表決定） |
| **2** | **月** | **24** | **日** | **火** | **Project C⑱：全体発表会** |
| 2 | 月 | 26 | 日 | 木 | Project C⑲：振り返り |
| 3 月 13 日(金)・3 月 14 日(土)　筑紫祭にてステージ発表・成果物展示 | | | | | |

5　令和６年度探究課題

| 演　題 | 課　題 |
|---|---|
| 筑紫野市の観光について | 筑紫野市の観光について　※google マイマップ機能 |
| 防災・減災対策の推進 | 家庭での防災対策の項目数の向上 |
| スポーツの推進 | 週１回以上スポーツレクリエーション活動を行う市民の割合が増加する方策 |
| 地域コミュニティによるまちづくり | 多世代が参加できる、参加したいと思える交流事業の提案 |
| 市民との情報共有の推進 | 「筑紫野市を好きになる」ような Instagram の効果的な運用方法を考える |

※筑紫野市から提示される５つの探究テーマに加え、令和７年度は、福岡高等視覚特別支援学校の生徒に「福祉に関する探究テーマ」を提示してもらい、交流をとおして当事者の思いや願いに触れ、解決策を提案する活動を行う。

6　令和６年度 Project C 成果物（抜粋）